

おはようございます。

校長先生の声は、みなさんの心に届いていますか？

前回のももたろうのお話で、何人かのおともだちがももたろうの不思議を書いてくれました。ありがとうございます。

「ももがどうして川にながれていたんだろう」なるほどそうですね。普通、川に桃は流れませんよね。確かに。この不思議はまだ募集しますので、よかったら書きにきてください。

また、鬼退治の良い方法はないかなという宿題を出しましたが、皆さんは良い方法を思いつきましたか？

校長先生は、どうしてきびだんごで言うことをきかせなかったのだろうかと子どものときにも思っていました。犬や猿はそれでうまくいったのだから、一度ぐらい試してもよかったのではと。うまくいけば、鬼とけんかしなくてもすんだのにも思っていました。

さて、全然話がかわるのですが、先日結婚するならどんな人がいい？というアンケートをみまして、校長先生は「ああ、やっぱりそうなのか」と思いました。男の人も女の人も、圧倒的1位に選んでいたのはどんな人だと思いますか？

次の中から選んでみましょう。

- 1 お金持ちな人
- 2 かしい人
- 3 かわいい人、かわいい人
- 4 やさしい人

少しまわりの人と聞き合ってみてください。

どうでしょう？正解は4番のやさしい人でした。もちろん、これはアンケートの結果なので、み

なさんが、お金持ちやかしい人を選んでもいいですよ。ただ、世の中のほとんどの人はやさしい人を選んでいるようなのです。では、やさしい人というのはどんな人なのでしょう。考えやすくするために「やさしさ」ってなんだろうと考えてみましょう。少し廻りの人と聞き合ってみてください。

どうでしょう。辞書で調べると、「心温かく、思いやりがあること。または、おだやかでおとなしいこと。」とあります。

なるほどその通りですよ。いつも相手の立場にたって行動できる。激しくおこったり、大騒ぎしないことでしょうか。

校長先生は、あえて人以外で考えてみました。たとえば、冬の寒い日に外から家に入って、熱い鍋焼きうどんを食べると、やさしい気持ちになれます。温かいミルクでもいいですね。食べ物以外ですと、絵の具で緑に白を混ぜて良い感じのエメラルドグリーンができたときなどもやさしさを感じます。それから何と言っても、もう死んでしまいましたが、犬のチェリーが一生懸命子ネコを育てようと、全身なめていた姿をみて、とてもやさしい気持ちになり、自分もやさしい人になろうと思いました。チェリーがネコを育てても何の得にもならないし、むしろネコのせいで家の中がごちゃごちゃしそうなのに、いっしょうけんめい子ネコを育てていました。

こうみてきますと、自分にとってそれほどいいことではないのに、得にならないのに、相手のために一生懸命するしぐさ、行動などに優しさがあるような気がします。

皆さんは、どんなときにやさしさを感じますか？こちらよかったら、校長室前のボードにつぶやいてみてください。

これで校長先生のお話を終わります。最後まで静かに聞いていただき、ありがとうございました。

